

農民の解放

敗戦の悲報は、就業人口の五割を占める農民の解放を、先ず何よりも、考えた占領軍は「農地解放」を強権をもって一気に実施した。政府は、占領軍の啓蒙・宣伝にのって革命的に「農地解放」をした時の紙芝居は次のものであった。

農民の笑い顔は、明るい、民主的な政府の施策に拠るものであろう。



盗難防止運動と町内会

一方、食料不足の世相は、住民の盗難を誘発し、畑の作物を暗いうちに盗まれると言う、噂はどの町内会でも発生したし、配給の物資の不足は町民の「物にたいする憧れ」を誘発したし、一方ではインフレが日に日に生活を圧迫した。

